

ORIENTEERING Japan

Navigation across Country

'97 / 1

1997年 [平成9年] 1月10日発行

(毎月1回10日発行)

第14巻第4号通巻第154号

昭和63年6月24日第三種郵便物認可



②現地調査記入例

示	表	内	容
—	—	歩道	
—	—	生垣、街路樹等	
▨	▨	公園、農地、広場、空き地	
—	—	ブロック塀等の位置	
—	—	階段の位置	
—	—	行き止まり道路の位置	
—	—	擁壁	
—	—	自然崖	
●	●	わき水	
●	●	街路消火器	





＝ ALL JAPAN ＝

- ・ 第22回全日本大会(後編) 編集・桐田 幸宏 … 4-5
 上位入賞選手のコメント 木植 早生
 女子選手権・近年の軌跡

＝ 10-Mila'96 ＝

- ・ THE DAWN OF JAPANESE ORIENTEERING … 6-7

＝ CLUB EVENT ＝

- ・ 三河オリエンテリングクラブ20周年記念大会 … 8
 三河OLC会、大会執筆者・稲葉 英雄

＝ SKI-O ＝

- ・ 「国際スキーオリエンテリング大会」最新情報 … 9-11
 国際オリエンテリング協会 執筆者・元木 悟

＝ O-CLUB LIST ＝

- ・ O-JAPAN クラブ購読(登録)一覧 … 12-17

＝ ORIENTEERING CALENDAR ＝

- ・ オリエンテリング・カレンダー … 18-19
- ・ トレーニング・カレンダー
- ・ オリエンテリング・カレンダー(海外編)

＝ お知らせのページ ＝

- ・ 編集部より … 20
- ・ 海外オリエンテリング ツアーを楽しみませんか

■ 今月の表紙:

これからの日本オリエンテリング界を背負う若き群像。

(上) 昨年のユニバーシアード
代表選手選考会参加者

(下) 同じく昨年のジュニア世界選手権代表選手選考会
参加者

■ 今月の地図:

今、横浜市で作成中の「地域防災拠点」周辺の安全度調査地図の記入例。編集者は現在フィールドコピーをまとめて全体的なクリーンコピー作成中。



第22回全日本大会（後編）

日時：平成8年3月24日
 場所：奈良県菟田野町・大宇陀町
 主催：（社）日本オリエンテーリング協会
 主管：大阪府オリエンテーリング委員会・奈良県オリエンテーリング協会

編集／桐田幸宏

全日本大会の3回目。今月号では、最後に原稿を出していただいた、木植早生選手の文章を掲載する。木植選手は今回で全日本4連覇。かつての長田由紀選手以来の連覇記録を歩みだしている。参考までにここ10数年の木植選手の順位の推移と、ここ数年の上位10位までの推移も掲載してみた。女子選手権にも注目するとおもしろい。

木植早生

いくつになってもメダルや賞状を受けるのはうれしいもので、まして優勝はおさらです。

私にとつてのOLは地域クラブ、大学、公認・・・いつもどれも同じ意識（レベル）での取組ですので全日本も特に力を入れるとか調整してのぞむ事はないつもりでしたが、年が明け、大会に参加するたびにいろいろな人から「頑張ってるね」「優勝できるように」「期待している」と応援の言葉をかけられると、やはり大きなレースなのだろうとドキドキしたり、私にできるのかと少々あせったり、ミス連続で言い訳にもならない位の姿だったら皆はどう思うのか、など少々考えてしまいます。

会場付近は材木問屋が多く、駐車場からの途中には水分（みまくり）神社で湧き水をのみ、かわらの上で大黒様が祭られている大きな酒蔵を見、又今では数少ない木造校舎もありました。会場に着くとミンクのキーホルダーの参加賞品、観光パンフをいただき、この土地の文化や産業、歴史にほんの少し触れることもできました。すでに、そして続々といつもの顔ぶれやなつかしい仲間が来場し声をかけあいます。

さてレース展開ですがスタート地点への途中なめし皮工場わきを通っていかせるのも地元産業PRの演出のひとつでしょうか。Sでは、先程と何の変りもなく時を刻み人を送り出していました。プログラムのプロフィールに書いてあった「人家・耕作地・道が多い」ということから「もしロードレース的要素が強いのなら私にとっては苦手で、人より優れているとは決して言えないので、とにかくきれいにクリアしよう。ミスなくやれる事がなによりだ。ポストアタックは確実にしていねいに進もう」と覚悟を決め地図をとり、進んだ。正面の斜面を登り切ったところで、あっという間に1分後のブザーが後方に聞こえて時の流れの早さに「フッ、まだ始まったばかりだ」と落ち着いた。

1へは、コンタリングぎみに直進も考えたが、無難に尾根スジつたいに決める。数カ所のピーク通過にはスピードをぐっと落とし注意する。ピークに乗りかかったらゆっくりと、コンパスで方向をきちっと確認し進む。今回はこんなところが多いのか、ピークから分かれるいくつかの尾根にはつられてはならない。絶対にかんや、だいたいで行ってはダメだ。

4直前で由紀さんに会う。登りだ、足が重い。今までとても順調にきたがスピードアップしすぎか、パンチ後尾根つたいのやや登りがつらい。へたばりかけたやいなや、励まされたおかげで、壁をのりこえられた。5のラジコンからは、いよいよロードレースさながらで、下りは歩巾を広げ、松田聖子の歌を口ずさみ、けっこういい走りです。ここまでけっこう長く感じたので、あとどの位ですむのかとコントロールカードを見ると、あと3分の2。10ポスト近くもあるではないか。たいへんだ。平らになり、のぼりになると、ぐっと身にしみてペースダウン。しかも向かい風。男子にはさらりとかわされ、早く山に入りたい気分（見えるところじゃピンクのゼッケンで歩いているのは恥ずかしい?!）6へはやや深い沢の分岐をいくつか気をつけて通らなければならぬ大事なところ。1つでも手前の、又は違う方向の、そして通りすぎでしまったりしたら、コントロール付近ではなく全く違った山はだを探すおそれがあります。首を大きく左右に振り、地形をよく見て進むとちゃんと目指す地点へたどり着き、やっぱりほっとします。7→8はロングレグ。西側のほとんど直線に近いルートが目に入りましたが、ちょっとしたピークが気になり、それより右側の距離はのびるが道をドゥーっと使うルートに決めた。後で知りましたが、東側の、さらにほとんど道の太うかいもあったのです。この部分、地理的制約のある場所のロングレグでは、その多くが1つのルートになってしまう事が多いのですが、今回のセッターは苦勞し、考え、工夫したところではなかったかと走りながら考えました。このひと山への

登りは、ひざに手をつき、あとどの位登ればいいのか、ため息をつきながらです。アタックは、まちがいがなく急な沢を一気に下るも、思いがけない倒木が多く進みは悪い。傾斜変換にポストはあり、下からほかのクラスの何人かがつめてきます。次のは出入りなので、今きた過激な斜面にへばりつく。急な上にフカフカして一歩踏みしめるとググッと半歩ずり戻ってしまうほどで、力がすいとられてゆく。めまいと息切れで、もう倒れる寸前だ。惰性ながらも転がるような勢いでミゾのポストへピッタリあたり、いよいよ残るは、向こうのひと山をまわるショートレグの3ポストのみ。ほんの少しの登りも頭と体は、避けるルートに進んだがミスもなくクリア。残すラスポをチェックすると、ゆるい下りの舗装道路で、別のラスポからとの合流もあり、ゴール目指す人も多くなって、なんだか安心してほっとして、もう苦しい思いはしなくていいんだ、やったこれで終わりだ、という解放感とでうれしくなった。さらにデフを見ると500mの誘導のはずが、なんだもうすぐそこに校舎も見えだし、200m位で近いじゃないのとスピードアップ。そして、学校のフェンスが正面に見えるといよいよゴール。「早生走れ」「ファイトだ」「頑張れ」との応援に、これぞ最後のありったけの力を振り絞り、ひざをあげ、大またで全力走る（かっこついたかな）・・・も、入り口がない。おやおやと左手にグランドの中を見ながら、あれれ逆走?! 私はどこに行く。流れはこれでいいの?!と一気にパワー全開が使い切れ、もたずにガックリ（かっこわるい）けどうまいことに横断幕が背の高さに長く張ってあり「しめしめ向こうからはへたばる姿は見えないゾ」をいいことにヨロメイた走りでもフィニッシュラインを走り抜ける力をたくわえた。グイッと方向が変わりグランドに突入すると「よく走った。十分に走り切れた。ピークからの方向決定もうまくいった。地図もよく読めた。想像する地形がちゃんと出てきた。ミスもなかった。上出来だ。コースもエリートらしく、

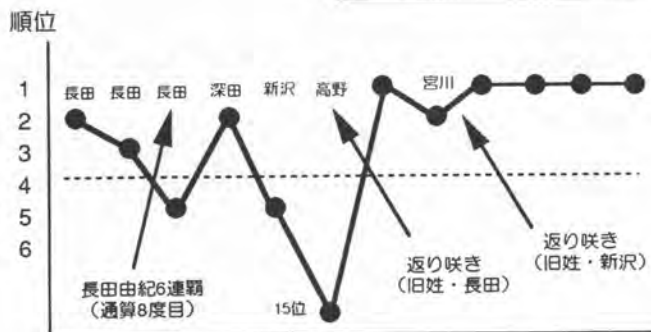
ショートとロングレッグ、ラフとファインのコンビネーションがおおいに取り込まれてあった。走力の必要なスピードの出せるところ、スピードを落とさなくてはならない読解力の必要なところ、体力と気力の必要な登り下りや、ゆるいきついバランスとコース距離」ほんとはよくやったなーとわずか残り100mで思い返された。ゴールと同時に一気に飲み干し、仲間と話していると疲れもどこかにふきとんで、充実感で体は軽くなっていた。

着替えて、かわるがわる仲間と花が咲き、いつしか優勝決定したと、実に多くの人から「おめでとう」の声をかけていただき、喜んでくれたり、握手でたたえてくれたり、後にはメッセージカードや電話でも祝っていただいた。いつもそういった多くの良き仲間と囲まれてる私は幸せを感じるとともに、仲間と、仲間を待っている自分が自慢であり、ほこりでもあるのだ。

会場を、競技者ではいつしかほんとうに一番最後に出、気がつけば、ゴール後

のドリンクとだんご1ヶの他何も口にしていなかったと、急におなかもすく。楽しみなおみやげや、出店ものぞけず、一度もグラウンドに入ることなく終わってしまったことに、友との語らいがその分あったかと苦笑いし、帰途へと向かうのであった。

女子選手権・近年の軌跡



木植早生選手・順位の推移 (第11回大会以降)

第17回大会 (90年度) 静岡県富士市



- 1 木植早生
- 2 石田小百合
- 3 出田裕子
- 4 原和泉
- 5 宮本知江子
- 6 深田幸子
- 7 阿部今日子
- 8 田垣尚美
- 9 三井由美
- 10 小林正子

木植選手が初優勝を遂げた。前年champの高野選手は不参加。宮川祐子選手は15位に終わっている。学生の実力者・石田小百合 (当時3年) が2位に。同期の富士はD19-20Eで優勝。

第18回大会 (91年度) 岐阜県美濃加茂市・加茂郡



- 1 宮川祐子
- 2 木植早生
- 3 福士淑子
- 4 深田幸子
- 5 出田裕子
- 6 宮本知江子
- 7 石田小百合
- 8 白井由美
- 9 三井由美
- 10 浜田由紀

宮川選手が返り咲き、木植選手の2連覇はならなかった。学生の第一人者、福士選手が3位に。インカレには敗れた後の躍進。

第19回大会 (92年度) 島根県安来市



- 1 木植早生
- 2 宮本知江子
- 3 福士淑子
- 4 金子しのぶ
- 5 宮川祐子
- 6 出田裕子
- 7 高野由紀
- 8 加納尚子
- 9 渡辺初実
- 10 白井由美

木植選手が返り咲く。無冠の宮本選手が2位に。福士選手は2年連続3位。元インカレchampの金子選手も上位に。

第20回大会 (93年度) 三重県伊勢市



- 1 木植早生
- 2 高野由紀
- 3 出田裕子
- 4 宮本知江子
- 5 金並由香
- 6 加納尚子
- 7 渡辺初実
- 8 松本和美
- 9 白井由美
- 10 金子しのぶ

木植選手がついに連覇。日本一の地位を固める。高野・出田と、champ経験のあるベテラン勢が後に続く。福士選手が11位に後退し、インカレchampの金並選手が躍進した。

第21回大会 (94年度) 栃木県矢板市



- 1 木植早生
- 2 福士淑子
- 3 高野由紀
- 4 酒井佳子
- 5 金子しのぶ
- 6 金田収子
- 7 宇野明子
- 8 千葉あかね
- 9 金並由香
- 10 三好暢子

木植選手3連覇。木植時代を予感させる。福士選手が復活して2位に。高野選手も依然として上位。インカレ前年2位の酒井選手、この年度champの金田選手も上位につけた。

10-Mila'96

—THE DAWN OF JAPANESE ORIENTEERING—

遂に日本のチームが10-MILA (ティオミラ) を走った。北欧の最強のクラブを決する10-MILAに、人数が不足しているとはいえ、8人の日本人が走ったことはスウェーデン人にとっても驚きだったようだ。

10-MILAは毎年五月の最初の土日にスウェーデンのストックホルムの近郊で行われる。第1回大会は第2次世界大戦中の1945年4月28-29日(ドイツ降伏は5月8日)の開催で、今年の大会は51回目という歴史あるビッグイベントだ。過去に数人の日本人が外国のクラブで出場したり、観戦したりしたことはあったが、日本のチームとして出場したことはなかった。

大会は3部構成になっていて、土曜の昼にジュニア5人リレー、夕方(明るい)に女子5人リレー、そして土曜の日没後から日曜の朝にかけて男子10人リレーが行われる。男子10人リレーにはスウェーデンの内外から約5百チームが出場し、夜の第一走者のスタート時は5百人のランナーがヘッドランプを点灯し、光の帯が音と地響きをともなって森に向かって走り出す。今回、日本チームは8人のメンバーで男子の10人リレーの部にチャレンジした。

各走区は距離が異なり、最短で7キロ弱、最長で16キロ以上(しかも夜)もある。日本でも運動会で「スウェーデンリレー」なる競技があって、人によって違う距離を走ったりするが、それはまさにこの10-MILAのスタイルがモデルであるといえる。難易度は夜の走区でも昼と全く同レベルのコースで、闇夜の中でミスをしたらリロケートがきわめて困難だ。スウェーデンのトップ選手たちはそんな夜のレースでもほぼ昼と同様のスピードでオリエンテーリングをする。



10-Mila'96 開催地:SWEDEN,ENKOPING,Salinge

開催日:96.5/4-5 START:22時

気温:5度前後

天候:曇りのち雨

走順	走者	距離	タイム	条件	(トップタイム)	
1	落合	12.8km	140.41	夜	J.A.Bordal(Ringsaker)	81.48
2	安斎	12.8km	197.59	夜・霧	Tore Sandvik(I.Ostford)	79.29
3	利光	16.1km	160.30	夜~夜明・雨	Thomas Asp(Stigen)	100.39
4	元木	7.7km	68.51	朝・雨	David Lover(NTHI)	47.11
5	木植	7.7km	98.20	朝・雨	M.Grahn(IFK Sodertalje)	44.51
6	茅野	13.9km	(137.50)	朝・雨(DNF)	J.Sunden(IFK Sodertalje)	84.06
7	藤城	9.9km	97.31	朝・雨(RESTART)	M.H.(IFK Sodertalje)	54.16
8	利光	26.8km	DNS	(RESTART)	Heikki Peltola(R.R)	39.47
9	藤城	26.8km	DNS	(RESTART)	F.Lowegren(Lidingo)	36.19
10	桂田	14.0km	(1???)	朝・雨(RESTART,DNF)	M.Bostrom(K.Rasti)	76.32



優勝チーム IFK Sdertalje (4回目)

11時間07分34秒

走順	走者(年齢)
1	Panu Piiparinen (23)
2	Gunnar Eriksson (36)
3	Kari Enckell (32)
4	Lennart Borg (34)
5	Magnus Grahn (30)
6	Johan Sunden (26)
7	Mats Hellstadius (36)
8	Pontus Jonsson (30)
9	Michael Wehlin (34)
10	Allan Mogensen (28)



日本の1走は落合公也（OLCルーパー）。スタート直前は大変緊張した様子だったが、日本OL史の新たな一歩を踏み出し、一走という大役を見事に果たした。完走した後の彼の表情には、偉大なる達成感と喜びとが溢れていた。

2走は94年にスウェーデンのクラブチームで10-milaの1走を経験したことの有る安齋秀樹（三河OLC）。不運にも途中でバッテリーが切れてしまい、会場にスベアを取りに帰るアクシデントがあったものの、何とか完走し、次につないだ。

3走は距離、時間帯共に最もタフな走区。利光良平（チーム白樺）は、スウェーデンのOL合宿所に早く入り、日夜！厳しい練習を積んだ。その甲斐あって様々な悪条件に打ち勝って、早朝の会場にキロ9分台のタイムで戻ってきた。

4走はスカンジナビア夏季初登場の元木悟（チーム白樺）。夜もチームメイトをサポートし、ほとんど不眠の状態で冷たい雨の中を出走するも、日本チームでは最も早いキロタイムで回ってきた。

5走は日本の女子チャンピオンの木植早生（チーム白樺）。新聞には“日本のMarlena Jansson”と紹介された。10-milaでは女子の部（昼間だけ）もあるが、彼女のように男子の部に挑戦している選手も少なからず見受けられた。

6走はベテランワールドカップにも出場した茅野耕治。レース直後にはリトアニアでのワールドカップへ移動するため11時迄という時間限定の中で、やむを得ずDNFとなったが、コースの最遠地点までは行った。

7走は3月のインカレチャンピオンの藤城公久（筑波大卒）。遠征直前に7月の学生選手権への出場を決め、勢いに乗る。初遠征ながら、北欧のテレインにすぐ順応したのはさすが。試合前のTV取材では最も目立った。

8走は桂田靖之（名古屋大学4年）。チーム最年少。ウムスタートだったが雨の中を10キロ以上走って帰ってきた。彼は大会後後にリトアニアへ渡り、ワールドカップ観戦に行った。今後の活躍が期待される。

初参加で、ナイトOの方法や戦略、装備なども分からずに乗り込んだが、それなりにまとまった記録は出せたと思う。北欧のチームとの力の差は昼以上に感じたが、逆にそこに北欧でのオリエンテーリングへのヒントがあると思う。ナイトとはいっても昼と同様の難易度のコースなので、距離と方向をしっかりと定め、とにかく正確に直進をこなさなければならない。小さな特徴物で修正をすることは困難だ。それゆえにプランニングの段階で特徴物の何が使えて何が使えないかをしっかりと見極め、確信を持ってルートを決めなければならないことを思い知らされた。そしてもう一つ感じたこと

とは「強い気持ち」を持つということ。長距離の寒くて暗い夜のレースでは、体のリズムを止めるとたちまち競技能力低下につながるので、ミスを防ぐと同時に意地でも体を動かし続けパワーを持続させなければならない。

ナイトの装備について

「ヘッドランプ」

10-Milaなど、本場のナイトでは、専用のバッテリー式ヘッドランプが使用される。日本のメーカーの乾電池式の物に比べ、数倍明るく最大20Wで点灯でき、森の中で50m先まで足場が見通せる。Ni-Cdバッテリーは1個1キロぐらいの重さがあり、最大3時間点灯(10Wで使用時)できる。やや重たいバッテリーだが、ランナーが走行しやすいよう、専用のバッテリーホルダーで背負う。今回は、1・2走は1個、3走は2個のバッテリーを背負って走った。充電器、ランプ、バッテリー、ホルダーの一式揃えると3-4万円する。日本のOLショップではどこも扱っていないので現地で調達しなければならない。

「ポストフラッグ」

昼と同じフラッグの横に直径4cm程度の赤・白・青の高輝度反射テープを巻いた円筒が吊される。50m以上離れていてもランプの光線が当たればピカッと光って確認できる。この反射筒はスウェーデンOL連盟で販売している。ランプなど自発光のものは使っていない。

10-Mila'96のTHE LONG NIGHT（3走）を走って

利光良平

私はスタート前に不安を感じることはなかった。これから始まるレースが昼だろうと夜だろうとそれは関係のないことだった。10-MILAナイトはオリエンティアとしての夢やロマンだったし、いくつもの苦勞を乗り越えてこの時を迎えることができたのだから。むしろ10-MILAの地図を持って早く森の中へ旅立ちたいというチャレンジャーとしての熱き思いが私の心を支配していた。

2走の安齋がかなり遅れ、予定時刻を1時間過ぎて出発した。もはや周りに自分と同じ走区の選手はいない。独り旅の始まりだ。1番までは直進でコンパスを1番の手前の大きなオープン湿地にセット、そして距離900mをコンパスの針だけを頼りにニードルランニングする。途中いろいろな地形が出てきては消える。昼ならばそれらによってリロケートできるかもしれない。しかし闇の世界ではよほど特徴的なものしか確認できない。自分は本当に正しい方向に進んでいるのだろうかど不安がよぎるが、とにかく闇夜の中で頼れるのはコンパスである。方向を守って進むしか方法はない。そうして進んでいると目標としていた湿地が現れる。ほっとしたがここで気を抜くわけにはいかない。次に400mのアタック直進をしなくてはならない。ここからは地図を良く見るようにし、再びニードルランニングする。直進ルートの断面図をイメージして高低をトレースすると直進しやすい。一段上の台地が上がって、傾斜変換の壁にぶつかる。「近い」と思ってコントロールがあると思う方向を向くとピカッ！と光るものを発見した。それはまさしく1番コントロールであった。

1番までで「コツ」をつかみ、コースの50%付近までは順調にナイトオリエンテーリングをして行った。しかし50%付近をすぎた10番のアタックで完全に現在地をロストした。アタックポイントの取り方が甘かったのだ。10分以上のロスをして何とかレースに復帰した。そこから慎重にレースを再開し、後半戦に入った。さすがに16kmは長い。まもなく辺りが明るくなり、それと共に冷たい雨が降り出した。5月上旬とはいえ北緯60度のスウェーデンはまだ冬が終わったばかりなのだ。

後半はロングレッグが多く、根気のいるレースとなった。すでに2時間を越えて12km以上を走り、体力を消耗している。しかし動きを止めると寒さと疲れで体が本当に動かなくなりそうだったので、必死になって前へ走り続けた。

19番までであるうちの16番までの3km近いロングレッグを終えると、会場まではあと800mだ。最後の力を振り絞ってショートレッグを突き進む。スウェーデン語の会場放送が聞こえてきた。ラストコントロールを取って明るいほうへと突き進む。森を抜けて朝の会場の風景が飛び込んできた。「あゝ俺は今10-milaを走っているんだ」と感激しながら4走の元木選手のところへ走り込んだ。周りにはランプを着けている選手はいない。16.1km,2:40:30の長い長い夜の終りであった。

三河オリエンテーリングクラブ20周年記念大会

稲葉英雄

(三河OLC会長、大会競技責任者)

たくさんの皆さんに参加していただきましてどうもありがとうございました。

当日は曇天ながらなんとか夕方まで雨が降らずにすみ、狭いテラインでしたがそれなりに楽しんでいただけたことと思います。

地元の方の反対で地図の東半分が使用できなかったこと。自動計測装置を使ったことなどについて書かせていただきます。

1. 地図の東半分について

調査を始めた1年半前より、地図の北東部分(地図全体の約10分の1)の地区から「近頃、町の者が山に入って勝手に草や木、石などものを持っていくことが多くなった。後になって取りに来る可能性があるのでオリエンテーリングの大会で山に入ってもらっては困る。」と言われていました。

私たちは、この10分の1の部分さえコースからはずせばいいと考えて準備を進めていたのです。(他の4地区の了承は得ていました。)

ところが今年の全日本大会の翌日、その地区の総会に呼び出され使用範囲を説明したところ、なんと地図の東半分の大半は地区外ではあるものの、反対されている地区に住んでいる人たちが持っている土地であることがわかったのです。

行政区毎に交渉していたつもりが我々にとって大変なショックでした。

本来なら地主をすべて調べ地主に対して了承をいただくべきだったと思います。しかし、自治体にもよりますが、下山村の場合公開されていたのは大変古い土地台帳(地図の精度は極めて悪く、境界がほとんどわからない。亡くなっている方の名前も多い。)のみでしたし、ほとんどの方が地元の方でしたので、行政区毎に区長さんと交渉していたのです。

その後、2週間かけてねばり強く使用許可の交渉を続けましたが、「1年以上前の総会で決定したことだから・・・。」などと言われ、結局許可してもらえませんでした。

さらにその後も、問題となった地区以外の2軒の地主からも「区長がOKと言ったかもしれないが、俺は心情的に絶対入ってもらうのはいやだ。」と

反対され、コースやスタート地区が二転三転し、結局コースが最終的に決まったのは、プログラム発送前日(大会2週間前)でした。

当初は、耐水紙を使い、印刷所でコース印刷するつもりでした(ロットリングで丸まで書き終わっていました)ので、がり版印刷するのは、参加者の少ないコースのみでせいぜい300枚の予定だったのです。

実際には、テラインが狭くなってしまったために2マップのコースが5コースとなり、オールコントロール図350枚や販売用を含め、がり版印刷した地図は2200枚に達しました。加えて、予定にない位置説明張りやビニル袋入れの作業が発生し、ゴールデンウィーク後半に日程を持ってきてなければ、とても開催できなかったといえましょう。(ちなみに当日の役員は、クラブ員約20名、クラブ員の家族(奥さんや小さい子供)約12名、岡崎オリエンテーリング協会の人8名(地図交換所が必要になったりしてどうしても人が不足し応援してもらいました)の合計約40名でした。)

ゴールの面白さ、地図の精度などを考えると、東半分を使用できなかったのは非常に残念なことでした。

我々オリエンティアは、もっともっと地元の方の立場に立って、地元の方の山に対する気持ちを理解してあげることが必要なのではないのでしょうか。

2. 自動計測装置・参加者による速報用紙張り出しについて

2年半ほど前の三河OLC大会、愛知県での全日本リレー、昨年の大阪OLC大会などで使用された自動計測装置を、運営工数低減・速報性重視の観点から今回も使用しました。この方式は、手首にスタート時刻やクラスの情報が入った小さな発信器をつけていただき、ゴールでその発信器を受信機に近づけてもらうことで、パソコンが所要時間を瞬時に計算してしまうものです。

さらに今回はゴール後約1分で速報用紙を印刷し、参加者自身にゴールから会場まで運んでいただき自分で張り出しまでやっていただきました。(ただし、全員がスタートし終わった12時以降のみ)

些細なトラブルを除けば、装置のトラブルは皆無と言っても過言ではないほどでした。

しかし大会終了後、「日本オリエンテーリング協会が制定した競技規則には、『ゴールの計測は胸がゴールラインを通過した時点である』というような記述があり、それに違反しているのではないか」というご指摘を受けました。

本大会の場合、大会コントローラーの了承を得て、事前に公表してあったことから競技規則には抵触しないと考えていますが、今後日本オリエンテーリング協会内部で、規則改正を含めた自動計測装置の是非を議論していただきたいと思えます。

3. 公認大会の開催について

特に公認大会であるがゆえの苦労というのはありませんでした。

極めて少人数(事前準備は10人強)でも公認大会の運営が可能なことを証明できたと思います。

日本オリエンテーリング協会がイニシアティブを発揮し、公認大会が数多く開催されるようになっていくことが、日本オリエンテーリング界発展の上で本来あるべき姿だと我々は考えていますので、皆さんもどんどん公認大会を開催して下さい。

なお、本大会の位置説明は協田啓二氏の"Control Description Maker on LaTeX"で作成しました。



「国際スキーオリエンテーリング大会」 最新情報 1998. 1. 28 - 1. 31 第3回

長野県オリエンテーリング協会
理事長 元木 悟

1. はじめに・・・

いよいよ、2年後の1998年2月7日(土)～22日(日)、長野県長野市、山ノ内町、白馬村、軽井沢町、野沢温泉村を会場に「第18回オリンピック冬季競技大会」が開催される。私たちはこの「長野オリンピック冬季競技大会(以下、長野オリンピック)」で長野オリンピック文化・芸術祭として「真田町菅平高原国際文化交流フェスティバル」を行い、それに併せて「国際スキーオリエンテーリング大会」を開催することを決めた。

スキーオリエンテーリング(以下、SKI-O)は、1949年にオリンピック冬季競技大会(以下、冬季オリンピック)種目として国際オリンピック委員会(以下、IOC)によって承認されている。国際オリエンテーリング連盟(以下、IOF)では1988年のカナダ・カルガリ大会以来、1992年のフランス・アルペールビル大会、1994年のノルウェー・リレハンメル大会と、SKI-Oの実施の可能性を追求してきているが、残念ながらその達成は成らなかった。現在、IOFは、SKI-Oが将来の冬季オリンピックの正式種目となることを目指して、精力的な活動を展開している。

今回「国際スキーオリエンテーリング大会」を開催する長野県小県郡真田町の信州菅平高原は、上信越高原国立公園内にある標高2,207mの根子岳の裾野にひろがる高原リゾートで、「第18回オリンピック冬季競技大会」の開催都市、長野市の東に位置し、長野オリンピックのメイン会場から最も近いスキーリゾートでもある。

日本にとって、SKI-Oの国際大会の開催は初めてであり、運営面、技術面で多くの不安があるが、私たちは長野オリンピックを通じて、オリエンテーリング(以下、OL)を世界にアピールできるまたとない機会と位置づけ、「国際スキーオリエンテーリング大会」成功に向け、最大限の努力をしていくつもりである。この機会を、OL界及び開催地である信州菅平高原の飛躍へのチャンスとしてとらえ、世界各国、日本各地から多くの皆様方が、信州菅平高原を訪れて下さることを期待している。その時には、世界中の人々とともに、OLの楽しさと友情の素晴らしさを満喫することができると思う。私たち運営予定者一同は、1998年1月28日(水)～31日(土)に開催予定の「国際スキーオリエンテーリング大会」を、是非ともオリエンティアの皆様方のスケジュールに加えて欲しいと切に願っている。

大会日程

1998年1月28日(水)	モデルイベント
1月29日(木)	ショートディスタンス
1月30日(金)	休養日
1月31日(土)	リレー・パンケット
2月1日(日)	SKI-O交流会

2. 大会開催地、信州菅平高原の素顔

信州菅平高原は上信越高原国立公園内にある四阿山(あずまやさん、標高2,357m)と根子岳(ねこだけ、標高2,207m)の裾野にひろがる標高1200～1500mの高原リゾートである。「日本ダボス」と呼ばれ、姉妹都市であるスイスのダボス市を思わせる澄み切った空気と風景が自慢で、真夏の平均気温19.6℃という緑の大地は、天然の花たちの原色図鑑である。放牧牛が草を食み、ラグビー・テニス合宿が行われ、高原野菜が豊かに実る。

冬は一面の銀世界で、樹氷とダイヤモンドダストの美しい世界が広がる。信州菅平高原は「長野オリンピック」の開催都市、長野市の東約40kmに位置し、メイン会場から最も近いスキーリゾートでもある。

四季を通じて、ラグビー、サッカー、テニス等150万人余のスポーツする方々をお迎えするスポーツリゾートとして全国から脚光をあび、数多くのスポーツ大会を開催しているが、国際大会開催は初めての経験である。OL導入から30年近い歴史を持つ日本のOLパラダイス、信州菅平高原に是非お出で下さい。

3. 「国際スキーオリエンテーリング大会」誘致経過

1994年7月以来、私たちはSKI-O大会の実現に向け、様々な可能性を探ってきた。以下にその誘致経過を報告する。そして、1995年8月、長野オリンピック冬季競技大会組織委員会(以下、NAOC)で「真田町菅平高原国際文化交流フェスティバル」がNAOC主催事業の長野オリンピック文化・芸術祭として、「国際スキーオリエンテーリング大会」がNAOC後援行事として正式決定された。内容及び詳細については次号以降で報告するが、1998年には国内初のSKI-Oの国際大会が実現しようとしている。私たち運営予定者一同も一層努力するつもりである。オリエンティアの皆様方にもご協力をお願い申し上げます。

1) 1994年7月

東京都読売ランドでの関東ブロック会議で、山梨県OL協会一木副会長より「長野オリンピックに併せて、SKI-O大会等のイベントを開催したらどうか」との提案あり。協議の結果、「長野オリンピックに併せて、SKI-O大会等のイベントを開催」する方向で一致。大会開催の事前準備が、東京都OL協会伊藤会長に委任された。

2) 1994年12月

伊藤会長から元木に「SKI-O大会」の準備が引き継がれる。以後、長野県OL協会が窓口になり、準備が進められる。

3) 1995年2月～

宮澤、元木を中心にNAOC、地元等との交渉が開始される。

4) 1995年3月

Mr. Patorick Baufer (SKI-Oの元スウェーデンナショナルチーム選手: IOF派遣者)に競技エリアを見ていただき、信州菅平高原の競技エリアが「国際スキーオリエンテーリング大会」開催に最適であることがIOFに報告される(Orienteering World No. 122 1995年6月発行)。

5) 1995年8月

NAOCから第20回長野県OL大会の後援が出る。第19回長野県OL大会地図調査(一次調査)始まる。

6) 1995年11月

第17回長野県OL大会開催。参加者330名。

7) 1996年2月

SKI-O世界選手権(ノルウェー・リレハンメル)へ日本選手団派遣。「国際スキーオリエンテーリング大会」視察団が世界選手権や他のSKI-Oイベントの視察とIOF訪問を行う。

8) 1996年5月

NAOCから「長野オリンピック文化・芸術祭 真田町菅平高原国際文化交流フェスティバル」の内定が出る。

9) 1996年6月

NAOCから「国際スキーオリエンテーリング大会」の後援が出る。「国際スキーオリエンテーリングフェスティバル」実行委員会設立準備会議が開かれ、以降、準備委員会事務局が機能する。

10) 1996年8月

「長野オリンピック文化・芸術祭 真田町菅平高原国際文化交流フェスティバル」がNAOCで正式決定される。

11) 1996年夏

第19回長野県大会OL地図調査(二次調査)及び第20回長野県OL大会(公認申請予定)地図調査(一次調査)始まる。

日本オリエンテーリング協会(以下、JOA)との会議が行われる。海外版パンフレットをIOF総会、O-Ringen、ワールドカップ他に配布中。

4. 明日を見つめて

「国際スキーオリエンテーリング大会 最新情報」の第1回では、本大会の準備状況を、過去のO-JAPANのSKI-Oの記事を振り返りながら、大会招致のエピソードと、大会準備状況をお伝えした。また、第2回では本大会の招致活動の経過と、国際大会開催の意義、大会開催までのプランを報告した。

今回の第3回では、「国際スキーオリエンテーリングフェスティバル準備委員会事務局」も活動しはじめ、徐々に国際大会が具体化してきた現在の活動状況と、1998年までの長野県OL協会の大会行事予定をお伝えする。

(1) 国際スキーオリエンテーリングフェスティバル準備委員会事務局の設置

さる1996年6月15日に「国際スキーオリエンテーリングフェスティバル実行委員会設立準備会議」が信州菅平高原のホテル白樺荘会議室で開催された。出席者は、地元からは真田町、菅平高原観光協会、菅平高原旅館組合、

菅平高原スキークラブ、菅平高原OLクラブなどの関係者が、オリエンティアからはJOA、長野県OL協会、R. M. オーサービス、日本SKI-O研究会、国際OL大会日本代表などの関係者が参集した。出席者の合計は31名、「国際スキーオリエンテーリング大会」に対する関心の高さが伺えた。

この会議で、「国際スキーオリエンテーリングフェスティバル実行委員会」を設立するにあたり、その準備段階として「準備委員会事務局」を設置することになり、立候補と互選により以下のメンバーが選ばれた。実行委員会は、1996年10月に行政を巻き込んだ形で設立する予定である。

1) 準備委員会事務局メンバーと役職

事務局長	宮澤裕二(菅平高原OLクラブ会長)
経理担当	北村雄三(菅平高原OLクラブ副会長)
オブザーバー	竹前典男(菅平高原旅館組合)
競技スーパーバイザー	村越 真(1992年アジア太平洋洋選手権大会 実行委員会総務)
人事担当責任者	山崎隆喜(菅平高原OLクラブ副会長)
対外広報責任者	綾沢剛史(菅平高原OLクラブ副会長)
事務局長セクレタリ	木村佳司(長野県OL協会理事)
事務局員(人事担当)	竹村夫見(菅平高原OLクラブドクター)
(広報担当)	山本英勝(ワールドカップ日本代表・通訳)
(人事担当)	安斎秀樹(長野県OL協会員)
(渉外担当)	元木 悟(長野県OL協会理事長)

2) 事務局の活動状況

① 広報活動

海外向けパンフレット10,000部を作成し、イスラエルでのIOF総会、ワールドカップ、O-Ringen等の主要国際大会、各国OL組織、各国OL雑誌等へ配布中である。また、国内向けパンフレットについては近く作成し、秋からの主要国内大会、O-JAPAN、各県OL協会・委員会、大学及び社会人クラブに配布予定である。

② 実行委員会組織図検討

本大会実行委員会は「長野オリンピック文化・芸術祭 真田町菅平高原国際文化交流フェスティバル」実行委員会の中に含まれる予定のため、組織図の検討に時間を要している。現在、地元の真田町やJOAとの会議を進めながら、今年10月の実行委員会設立に向け検討中である。

5. 「国際スキーオリエンテーリング大会」までのスケジュール

(いずれも予定)

正式なスケジュールは「国際スキーオリエンテーリングフェスティバル実行委員会」が設立してから作成されるが、ここでは事務局で設定した準備案を提示する。

1) 1996年10月

「国際スキーオリエンテーリングフェスティバル実行委員会」を組織する。

2) 1996年秋

第19回長野県OL大会を信州菅平高原で開催する。

O-CADにより「国際スキーオリエンテーリング大会」用地図の作成を開始する。国内版パンフレットの送付を始める。IOFの国際コントローラに大会準

備の指導を受ける。

3) 1996年12月

大会要項の完成。配布開始。

4) 1997年冬

運営役員のヨーロッパ派遣及びSKI-Oワールドカップでの宣伝活動を行う。IOFの国際コントローラに指導を受けながらのコースプランニングを行う。

日本チームがヨーロッパでSKI-Oワールドカップに出場する。

5) 1997年1月

SKI-O指導者・初心者講習会(山形県)。

岩手県OL協会主催SKI-O大会(岩手県:予定)。

IOFの国際コントローラが来日(第1回)し、信州菅平高原で「SKI-O Clinic」を開催する。

6) 1997年2月

山形県真室川町の大会を運営者が視察する。

7) 1997年4月

プレイベント。信州菅平高原でミニ大会の開催。

8) 1997年春

第21回長野県OL大会(公認申請予定)地図調査(二次調査)。

9) 1997年秋

イベント2ヶ月前。申し込み締切。IOFの国際コントローラが来日(第2回)。全ての地図完成。

第21回長野県OL大会の開催。

10) 1998年1月

日本チームがヨーロッパでトレキャンを行う。SKI-O世界選手権(オーストラリア)へ日本選手団派遣。IOFの国際コントローラが来日(第3回)。

6. 国際舞台の中での日本の役割

日本では過去に数回、「アジア太平洋オリエンテーリング選手権大会」が開催されており、その内、1992年に静岡県と愛知県で行われた大会が最も新しい国際大会である。前述のとおり、今回の「国際スキーオリエンテーリング大会」はSKI-Oの国際大会としては国内初、FOOT-Oを加味してもアジア太平洋地域以外まで対象とした国際大会では国内初の大会でもある。

1995年10月19~22日にIOF会長 Ms. Sue Harvey、IOF事務局長 Mr. Lennart Levin、IOFSKI-O委員会委員長 Mr. Veli-Markku Korteniemi が来日し、信州菅平高原の競技エリアと、栃木県日光市の第3回日本学生ショートOL選手権大会(以下、インカレショート)を視察した。彼女らは信州菅平高原について、国際大会開催が最適であるとの感想を述べ、「国際スキーオリエンテーリング大会」成功のための最大限の協力を確約し、将来のベテランワールドカップと世界選手権の日本での開催のアドバイスを下さった。また、ショートインカレを視察した Mr. Lennart Levin は大会運営を絶賛し、将来の日本での国際大会開催を切望した(Orienteering World No.125 1995年12月発行)。

1998年1月、オーストラリアにおいて「SKI-O世界選手権」の開催が予定され、日程が本大会と完全にバッティングしていたが、今年2月にノルウェーで行われた「IOF SKI-O MEETING」で、IOFは

本大会開催のために、「SKI-O世界選手権」の日程変更(1998年1月19-24日)を決議し、本大会へトップレベルの選手を派遣したいという見解を示した。これについては「ORIENTEERING North America Vol.12 No.3」(村越久子さん提供記事)でも詳しく掲載されている。日本は世界から期待されている。私たちも世界の期待に応えるべく、相応の準備をして望む必要がある。

昨年、千葉県で行われた「WOC SQUAD JAPAN」の総会で、2005年を目処に「FOOT-O世界選手権」を日本に誘致しようという提案があり、「2005年プロジェクト(担当代表:佐藤信彦氏)」が設置された。アジア太平洋地域では過去に、世界選手権がオーストラリアとアメリカで、ワールドカップがニュージーランド、オーストラリア、香港で開催されている。日本でもFOOT-Oの国際大会を開催する時期が来ている。JOAも昨年からようやくベテランワールドカップ誘致に動き出した。私たちは、この「国際スキーオリエンテーリング大会」が国際大会誘致の起爆剤的な役割を果たせればとも考えている。

7. ますます面白くなる長野県のOLイベント

長野県OL協会の活動は「国際スキーオリエンテーリング大会」だけではありません。恒例の長野県OL大会を始め、楽しいイベントが盛りだくさん。長野県OL協会に応援とご協力を宜しくお願い申し上げます。また、現在賛助会員も含めて協会員を募集中です。

1) 第19回長野県OL大会兼第4回インカレショート大会 +菅平高原リレーOL大会'96

信州菅平高原。1996.11.2~11.4。海外を思わせる牧場トレイン。IOF絶賛の「国際スキーオリエンテーリング大会」の競技エリアでもある。R.M.O-サービスによる地図調査で、精度はわが国トップレベルである。

2) 第20回長野県OL大会

信州晴ヶ峰高原。1997.8下旬か9月上旬を予定。お馴染みのトレインが新しくなって再登場。今回も国立信州高遠少年自然の家を借り切って、史上最大のオリエンティア夏合宿にするつもり……。

3) 第21回長野県OL大会(公認大会申請予定) +菅平高原リレーOL大会'97

信州菅平高原四阿山麓。ここも第19回長野県OL大会と同じく牧場トレイン。長野オリンピックの100日前に行うイベントと位置づけられる。NAOCの後援大会。

次回の「国際スキーオリエンテーリング大会 最新情報 第4回」は、今年2月にノルウェーのリレハンメルで行われた「SKI-O世界選手権」の大会視察報告他をお送りする。

(1996年8月15日)

(〒399 松本市石芝3-7-16県職員松本寮204号)

日本SKI-O研究会からのお知らせ
日本SKI-O研究会では、1997年SKI-Oワールドカップへの出場者の選考を行っている。問い合わせは会長の武石雄市氏 TEL/FAX 0237-43-5106

O-JAPAN クラブ購読 (登録) 一覧

平成8年8月現在

都道府県名	正式クラブ名称 (略称クラブ名, アルファベット名) 事務局 (住所, 氏名, 電話) 創立年 (和暦) 月	代表者名	機関紙 (有無, 名称, 回数)
	会員数 (合計, 男, 女)		

《宮城県》

東北大学学友会オリエンテーリング部 (東北大OLC) 佐藤 時則
〒982 仙台市太白区向山4丁目22-16 コーポ コイズミ 202号 丹羽美智子 気付 ☎022-215-8380
1975年 (昭和50年) 会員数 (51名+新1年生, 男47名, 女4名) 機関紙 (「たっぴ(たっぴ)」 年12回)
☆日光インカレでは, 見事, 優勝することができました。
今年もやったるでー。(主将談) いや, やるっちゃ。みて下さい。今年の東北大会もよろしくお願ひします。秋は東北でくつろぎのひとつときを…。

宮城学院女子大学短期大学オリエンテーリング部 (宮城学院OLC) 山田 亜紀子
〒981 仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1 宮城学院女子大学オリエンテーリング部 ☎022-279-1311 (呼)
会員数 (25名, 男0名, 女25名) 機関紙 (「わかよ」 年12回)
☆こんにちは, 仙台では「宮学」と呼ばれていますが, OL界ではMGと呼ばれています。宮城学院のオリエンテーリング部です。普段は東北大オリエンテーリング部のみなさんと一緒に練習をしたりしています。今年も新入生もたくさん入ったので部員一同, これからも頑張つてゆきます。よろしくお願ひします。

《秋田県》

秋田オリエンテーリングクラブ (秋田OLC, AOLC) 佐々木 謹二
〒010 秋田市茨島6丁目5-70 伊藤 良雄 気付 ☎0188-62-8644
1987年 (昭和62年) 5月 会員数 (25名, 男18名, 女7名) 機関紙 (年4回)
☆全国に名の知れた佐々木会長を主体に25名のクラブ員で構成。
昭和62年創立以来, 各大会への参加, 地元大会の企画・実行等
堅実な活動をつづけている。



《山形県》

山形県オリエンテーリング協会 (山形県OL協会, YOLA) 武石 雄市
〒999-37 東根市大字東根乙 66-10 武石 雄市 気付 ☎&FAX. 0237-43-5106
1988年 (昭和63年) 4月 会員数 (40名, 男35名, 女5名) 機関紙 (年4回)
☆スキーオリエンテーリングを重視して活動しています。
今後, スキーOの大会および講習会を継続して開催しますので, どうぞおいで下さい。

《茨城県》

茨城FOXテーリング倶楽部 (茨城ARDF) 池田 敏雄
〒310 水戸市柳町1-4-27 MSS内 茨城FOXテーリング倶楽部 ☎029-231-8302
1990年 (平成2年) 2月 会員数 (20名, 男19名, 女1名) 機関紙 (「IFTC-フェア」 年6回)
☆アマチュア無線とOLをミックスした, ラジオハンティング (ヨーロッパで呼ばれている) を楽しんでいるグループです。OL3級を取得し, 春夏秋冬をOLとARDFでポスト探しを楽しんでおります。アマチュア無線の資格は特に要りません。初級コースで楽しんでみませんか。ハガキどうぞ。一番新しい機関紙と案内書を送ります。

筑波大学オリエンテーリング愛好会 (筑波大OL愛好会) 小暮 喜代志
〒305 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学体育系サークル会館内 筑波大学 オリエンテーリング愛好会
1975年 (昭和50年) 会員数 (80名, 男60名, 女20名) 機関紙 (「おひめ」 年10回)
☆先のインカレにおいて (女子が) 4年ぶりの優勝を手中にした筑波大OL愛好会です。平日夕方の「体トレ」を中心とした各種トレーニングに支えられて, 筑波大学は今年も男女ともに目の離せない存在になることでしょう。また, 第19回筑波大学オリエンテーリング大会を10月20日に茨城県高萩市で開催します。皆様の参加をお待ちしております。

茨城大学オリエンテーリング部 (茨城大学OLD=OLD) 鈴木 政洋
 〒310 水戸市文京2丁目1-1 茨城大学OL部
 1991年(平成3年)5月 会員数(41名,男28名,女13名) 機関紙(「団報OLD」年10回)
 ☆「OLD is new」ということでしたが、6年目に入り、新入生の大量加入で会員数40名を越すサークルになりました。昨年はインカレで目標であった男子団体戦完走を果たし、O-MAP作製なども、機関紙「団報OLD」では外部の方々からの投稿をお待ちしております。
 〒310 水戸市文京2-1-1 茨城大学学生部 気付 茨城大学OL部出版部 宛て

日立工機オリエンテーリング部 (日立工機OLK=KOKI) 鈴木 俊晴
 〒312 ひたちなか市長堀町3-1-3-4102 大貫 高輝 気付 ☎029-275-7351
 1985年 3月 会員数(19名,男18名,女1名) 機関紙(無)
 ☆私達のクラブは、会社の体育部会の一つに属しています。部員年齢層は、20代~50代と幅広いですが、Generation Gapを感じず和気あいあいと楽しく活動しています。
 活動内容は、試合:年に10回程、各地の大会へ遠征しています。(会社から遠征費補助が出ます。参加費も出ます。恵まれています。) 練習:シーズン(10月~3月)中、毎週1回約5kmのジョギング、月1回の八溝山(1,022m)登頂ランニング(復路は、温泉に浸り疲れを癒しています。)、2ヶ月に1回近場の山にクラブのメンバーでコントロールを設定しての実践トレーニング等であります。また当部には、ボストンマラソンに派遣された、走力が抜群に優れた選手も在籍しております。
 今後は、クラブとして昨年初めて試みたスキーOLにも積極的に取り組んで行く予定であります。宜しくお願ひ致します。

《埼玉県》

東京農業大学第三高等学校オリエンテーリング部 (東農大三高OL部) 谷田部 俊夫
 〒356 東松山市大字松山1400-1 東農大三高オリエンテーリング部(谷田部俊夫) ☎0493-24-4611
 1985年(昭和60年)4月 会員数(22名,男20名,女2名) 機関紙(「東農大三高オリエンテーリング部通信」)
 ☆昭和60年、学校創立と同時に創部。オリエンテーリングの活動の層をより多くの高校生に広めたいという願ひを持っている。学習と部活動の大いに両立できる部なので、新入部員は殆どやめない。緑が多い環境の割には練習会がなかなかできないのが難。これからどうぞよろしくお願ひします。

上尾市オリエンテーリング連盟 (上尾OLC) 荻島 正一
 〒362 上尾市平塚754-10 吉田 一仁 気付 ☎048-773-4750
 1976年(昭和51年)4月 会員数(40名,男29名,女11名) 機関紙(「上尾OL通信」年8~12回)
 ☆ナイトの上尾、ますます“みがき”をかけていきます。地域にとられないクラブ。それが最大の特徴になりつつあります。参加してみませんか!

《東京都》

早稲田大学オリエンテーリングクラブ (早大OC) 間島 功
 〒169-50 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学第一学生会館 気付 早稲田大学オリエンテーリングクラブ
 1976年(昭和51年)9月 会員数(59名,男41名,女18名) 機関紙(「わが UNIV OCLボト」年約10回)
 ☆早稲田大学、学習院大学、日本女子大学、共立女子大学と共に活動しています。昨年のインカレでは活躍できませんでしたが、今年度はその雪辱を果たすべく頑張っております。今後ともどうぞ宜しくお願ひ致します。

東京工業大学オリエンテーリング部 (東工大OLT, OLT) 石原 幸吉
 〒226 横浜市緑区北八潮1415-15 石原 幸吉 気付 ☎045-934-4366
 1980年(昭和55年)4月 会員数(60名,男59名,女1名) 機関紙(「WING」年10回)
 ☆私達のクラブも、最近やっとオリエンテーリング部らしくなってきました。まだまだ若いチームですが、部員の活気はどこにも負けません。来年には、第2回東工大大会を開催する予定ですので、どうぞよろしくお願ひします。

東京農工大学オリエンテーリング部 (東京農工大OLC, TAUT) 大木 寛之
 〒183 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学 農学部学友会 オリエンテーリング部
 1978年(昭和53年) 会員数(58名,男46名,女12名) 機関紙(「帰って来マウラ」年12回)
 ☆私達の部はオリエン界の6大学の一つに数えられ、昨年度のインカレ団体戦MEクラスでは11位と健闘しました。今年度もインカレに向けて、“入賞争いに絡む。運がよければメダルをゲット”を目標にがんば

ばっています。その他の普段の活動については、各部員の自主性にまかせており、とても自由な雰囲気
のクラブです。

中央大学学友会体育同好会連盟 オリエンテーリング同好会 (中央大OLC, COLC) 松本 隆博
〒192-03 八王子市東中野 742-1 中央大学学友会事務局 ☎0426-74-3486
1973年(昭和48年) 会員数(45名, 男40名, 女5名) 機関紙(「DNF」 年6回)
☆のびやかオリエンテーリング!!

《神奈川県》

鶴見オリエンテーリングクラブ (OC鶴見) 大久保 保二
〒230 横浜市鶴見区岸谷 2-3-6 水戸 誠 気付 ☎045-581-3925
1978年(昭和53年)10月 会員数(20名, 男13名, 女7名) 機関紙(「鶴見OLクラブ 便り」 年4-6回)

横浜オリエンテーリングクラブ (横浜OLクラブ, YOLC) 若梅 友行
〒246 横浜市瀬谷区三ツ境 108-2 篠原 孝太郎 ☎045-391-2686
会員数(38名, 男33名, 女5名) 機関紙(「OL」 年4回)

☆当クラブは会員が自然に親しみながら健全な心身の育成をはかり、会員相互の親睦を深めるとともに、オリエンテーリング運動の振興発展に寄与する目的で、次の活動を行なっています。

①練習会の実施 ②クラブ大会の計画・実施 ③会報の発行 ④OL合宿

会員には20代・30代と若い人達が多く入会しています。今後も更に活動を活発にし、楽しいメリットのあるクラブにしたいとはりきっています。

横浜国立大学オリエンテーリングクラブ (横浜国立OLC, YNU) 近藤 誠
〒240 横浜市保土ヶ谷区常盤台 156 横浜国立大学オリエンテーリングクラブ ☎045-823-0341
1973年(昭和48年)4月 会員数(74名, 男60名, 女14名) 機関紙(「RunRun」 年12回)
☆今年度は自校による練習会への参加率を高め、大会にも積極的に参加することを目標としている。
また、OL以外のスポーツも楽しみながらクラブの結束を強めていきたい。

《新潟県》

新潟大学オリエンテーリング部 (新大OC) 堀藤 正義
〒950-21 新潟市五十嵐2の町 7761-3 P.A.ステーション 101 川崎 邦弘 気付 ☎025-261-7818
会員数(75名, 男59名, 女16名) 機関紙(「給水ポスト」 年約6回)
☆私たちのクラブは、オリエンテーリングはもちろん、その他にサッカー、バレー、バドミントンなどいろいろなスポーツをして毎日楽しく活動しています。また競技面においても着々と実力をつけてきており、昨年度の日光インカレでは男子8位、女子5位と好成績を挙げました。これからも新大OCの更なる発展を目指して頑張りたいと思います。

《福井県》

サンワコン オリエンテーリングクラブ (サンワコンOLC, SCOL) 林 博
〒910 福井市花堂北 1-7-25 (株)サンワコン ☎0776-36-2790
1973年(昭和48年)4月 会員数(19名, 男15名, 女4名) 機関紙(未定)
☆当クラブは都市計画、区画整理、測量等の総合コンサルタント(株)サンワコンの企業クラブである。ただし製図担当者のクラブ員がゼロであるのがちょっと寂しい。活動としては、福井市の4大会を運営し、文殊山パーマネントコース、足羽山ファミリーコースの2コースの管理を行なっている。また、福井県OL協会および福井市OL協会の事務局を置いている。

《山梨県》

山梨中央オリエンテーリングクラブ (山梨中央OLC, YCO) 一木 昭男
〒400 甲府市東光寺三丁目 2-22 清水 義博 気付 ☎0552-32-5210
1975年(昭和50年)11月 会員数(8名, 男8名) 機関紙(無)
☆新会員の入会を希望しています。OL経験の有無にかかわらず問い合わせ下さい。オリエンテーリングを楽しみ、発展のために頑張りたいと思います。只今、クラブの再編に努めています。

《長野県》

長野オリエンテーリングクラブ (長野OLC, NOLC) 美谷島 孝
〒381 長野市高田北条 471-8 馬場 和彦 気付 ☎026-241-4535 ネット チョイス
1974年(昭和49年)9月 会員数(6名, 男6名, 女0名) 機関紙(「Route Choice」 不定期)

ウインドス

WINDS (WINDS)

御手洗 昌寛

〒399-07 塩尻市広丘吉田 1153-7-A201 岩倉 義雄 気付 ☎0263-57-9822

1985年(昭和60年) 6月 会員数(33名, 男26名, 女7名) 機関紙(「The WINDS」 年4回)

☆昨年11月の千葉大OLC20周年記念大会には多くの方の参加をいただきありがとうございます。我々のクラブも若手メンバーが増え、これから又何かする予感が…。どうでしょうか?

《静岡県》

湖西オリエンテーリング同好会 (湖西OL同好会)

尾崎 和市

〒431-04 湖西市太田 387-4 藤田 和男 気付 ☎053-578-1067

1979年(昭和54年) 7月 会員数(21名, 男19名, 女2名) 機関紙(無)

☆ごく一部の会員以外は迷走中です。但し春の山菜会, 秋の山芋会は参加率9割を超します。

《愛知県》

オリエンテーリングクラブほのくに (OLCほのくに, JAHO)

川口 匡

〒441-11 豊橋市賀茂町西屋敷22-6 白井 啓 気付 ☎0532-88-0890

1980年(昭和55年) 5月 会員数(13名, 男13名, 女0名) 機関紙(「ほのくに」 年2~6回)

☆「ほのくに」とは、愛知県東部東三河地方の平野一帯を称していた古名「穂の国」からとったものです。この穂は、蒲の穂のことです。

クラブのシンボルマークには、蒲の穂を用い、生涯スポーツとしてのオリエンテーリング活動をモットーとしています。したがって、オリエンテーリングをこよなく愛し楽しむ仲間が集まってきています。オリエンテーリングのために仕事と家庭に迷惑をかけない程度に細く長く活動したいと考えています。毎年の大会運営とかテラインの調査・作図といった派手な活動はどちらかというと少なめです。

椋山女学園大学オリエンテーリング部 (椋山OLC)

宇川 直子

〒455 名古屋市港区正保町 7-54 鬼頭 真樹子 気付 ☎052-382-1644

1991年(平成3年) 4月 会員数(14名, 男0名, 女14名) 機関紙(「ベストエフティ」 年2回)

☆名古屋大学・県立看護短大と一緒に活動している。女の子ばかりでにぎやかな雰囲気があるが、部員数の減少が悩みの種である。しかし、今年は新入生が20人程集まってくれ、これからの活動に期待できそうな予感がする。

《京都府》

京都橘女子大学オリエンテーリングクラブ (京都橘女子大OLC)

杉本 祐子

〒607 京都市山科区大宅山田町 34 京都橘女子大学オリエンテーリングクラブ ☎075-571-1111

1984年(昭和59年) 5月 会員数(13名, 男0名, 女13名) 機関紙(「Fair Play」 年7回)

☆個性豊かな人々の集まりです。各自の個性を尊重し、日夜、オリエンテーリングの向上に励んでいます。今年は新トリムを作る予定なので、橘のイメージが変わるかも? 楽しみにして下さい。

朱雀オリエンテーリングクラブ (朱雀OK)

樋口 一志

〒617 長岡京市開田三丁目 4-7 樋口 一志 気付 ☎075-951-6958

1992年(平成4年) 5月 会員数(22名, 男15名, 女7名) 機関紙(有, 年8回程度)

☆オリエンテーリング, スキーから宴会, ロードレースまで、会員がそれぞれ楽しみながらクラブに参加しています。少人数ですが、会員の出身大学は10以上を数え、誰でも気軽に入れます。

京都・滋賀に在勤, あるいは在住で、どこのクラブにも入っていない方は、ぜひご一報下さい。

京都女子大学オリエンテーリングクラブ (京都女子大OLC, KWU)

幾島 佐江

〒605 京都市東山区今熊野北日吉町 35 京都女子大学オリエンテーリングクラブ

会員数(8名, 男0名, 女8名) 機関紙(「Penalty」, 京都大学と共通)

☆京都の東山七条, 清水寺のすぐ隣にある京都女子大学。活動は主に京都大学OLCと共に進んでいます。昨年度、短大生が卒業したため、今年度は主に2回生中心の運営となります。楽しく明るいクラブです。よろしくお願ひします。

京都大学オリエンテーリングクラブ (京大OLC)

土屋 周史

〒606 京都市左京区北白川久保田町 27 土屋 周史 気付 ☎075-723-1079

1979年(昭和54年) 6月 会員数(65名, 男59名, 女6名) 機関紙(「PENALTY」 年8回)

☆私たちのクラブでは、活動は個人の意志にまかされています。全日本大会など多くの大会で活躍し、日光インカレでは団体戦男子3位と健闘しました。活気にあふれたクラブです。

《大阪府》

オリエンテーリングクラブ レオ (OLCレオ, LEO) 愛場 庸雅

〒573 枚方市西田宮町 6-14 愛場 庸雅 気付 ☎0720-41-1045

1977年(昭和52年) 6月 会員数(31名, 男25名, 女6名) 機関紙(無)

☆昭和52年, 大阪の3人の高校生によって設立され, 以来細々ながら活動しています。クラブ員が転勤等で全国各地に散らばってしまい, 関西在住の約半数になってしまいました。現在は2か月に1回程度の練習会や合宿を, 技術トレーニングを中心に行なっています。楽しみながら, よりハイレベルなオリエンテーリングができるようにするのが目標です。練習会等は一般にも公開していますので, お気軽にお問い合わせ下さい。

甲南OLCコンターズ (コンターズ, CONT) 游 賢忠

〒565 豊中市新千里東町 2-5 A18-104 辻村 修 気付 ☎06-831-2368

1978年(昭和53年) 7月 会員数(13名, 男8名, 女5名) 機関紙(「こぼりん」年6回)

☆甲南高校(兵庫県芦屋市)のOLCとして発足したが, 生え抜き4人とその家族が現在の構成員となっている。「甲南」の名はいまや自他ともに意識していない。クラブ独自の活動は, 年に1回8月第1日曜日の練習会(96年8月4日が第16回)と, 年に6回の機関誌「こぼりん」(96年3月号が第91号)ぐらいで, むしろ京都OLC・ふるはうす・大阪OLC・OLP兵庫・広島OLC・SQUADなどでの活躍で知られている。

追手門学院大学体育会オリエンテーリング同好会 (追大OLC, OGUO) 吉田 浩幸

〒567 茨木市西安威二丁目 1-15 追手門学院大学 朝日同好会 ☎0726-43-5421

1992年(平成4年) 6月 会員数(12名, 男12名, 女0名) 機関紙(「北星」年3回)

☆昨年12月に本学体育会において「愛好会」から「同好会」に昇格しました。今後は「クラブ」へ, そして「部」へと昇格したいと考えています。

本年もインカレに向かってがんばりたいと思っています。追大OLCをよろしくお願い致します。

《兵庫県》

宝塚市オリエンテーリング協会 (宝塚市OL協会, TOLA) 土田 伸行

〒665 宝塚市清荒神二丁目 4-26 定本 俊彦 気付 ☎0797-87-3648

1975年(昭和50年) 10月 会員数(21名, 男13名, 女8名) 機関紙(無)

☆中高年齢層の占める割合が高いことが特徴です。健康づくりを第一の目的としながら競技性を高めています。市民大会を主管し, ファミリーを対象とした“楽しいオリエンテーリング”の普及を進めています。

兵庫加西オリエンテーリングクラブ (兵庫加西OLC) 井上 正和

〒675-23 加西市北条町栗田 48 兵庫加西OLC ☎0790-42-1174

1976年(昭和51年) 4月 会員数(22名, 男11名, 女11名) 機関紙(無)

☆兵庫県の中でも播磨地区を活動の場としてOLの指導・大会等行なって, 日夜, 普及活動に努力しております。これからもがんばります。

《奈良県》

ナラオリエンテーリングクラブ (奈良OLC, NOLC) 箱谷 茂信

〒635 北葛城郡広陵町 1686 山本 和男 気付 ☎0745-55-0756

1980年(昭和55年) 4月 会員数(10名, 男10名, 女0名) 機関紙(無)

☆“スポレク奈良'95協賛OL大会”“全日本大会”に多数参加していただきありがとうございました。クラブの高齢化が進んでおります。若い人に入会していただいて, より活性化していけたらと思っています。

奈良女子大学オリエンテーリングクラブ (奈良女子大OLC) 堀川 真理子

〒613 京都市伏見区淀下津町 90-18 奈良女子大OLC ☎075-631-8619

1988年(昭和63年) 会員数(20名, 男0名, 女20名) 機関紙(「Map-Out」年6回)

☆今年は3回生がいないので, 『まだまだ』ですが, 頑張っていこうと思いますのでよろしくお願い致します。

《島根県》

島根OC (島根OC, Sima) 財間 定義
 〒694 島根県大田市大田町大田 1-299-4 財間 定義 気付 ☎08548-2-1405
 1991年(平成3年)4月 会員数(9名, 男6名, 女3名) 機関紙(「オリエンティア」 年12回)
 ☆1. 県内居住者で年間2回以上の県外遠征者を対象とする。
 (自発性に依拠, 義務一切なし)
 2. 月刊ミニコミ紙を中心に情報交流に努める。



オリエンティア

《岡山県》

オリエンテーリングクラブ吉備路 (OLC吉備路, KBIJ) 伊東 洋一郎
 〒701-01 倉敷市下庄 681-3 吉岡 康子 気付 ☎086-462-2378
 1985年(昭和60年)3月 会員数(38名, 男29名, 女9名) 機関紙(「吉備路」 年12回)
 ☆岡山で唯一のOLを楽しむ仲間の集まりです。貴方はクラブのために何ができますか?
 クラブ大会の手伝い, クラブ名での大会参加, 機関誌への投稿等クラブのために何か出来たという自覚を
 持てたら, もう貴方は私達の仲間入り。会費不要, ユニフォーム支給。
 明日の岡山に手をさしのべられる方, 歓迎します。

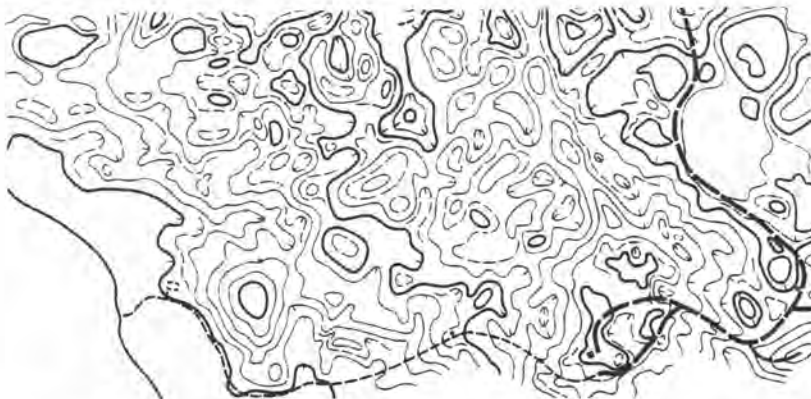
《広島県》

広島オリエンテーリングクラブ (広島OLC, HOLC) 江坂 純義
 〒732 広島市東区牛田新町三丁目 7-14-101 三好 正夫 気付 ☎082-220-1657
 1973年(昭和48年)9月 会員数(62名, 男45名, 女17名) 機関紙(「みくじ」 年12回)
 ☆発足23年目を迎えたクラブは, 広大OBの若手と発足当初からの熟年クラブ員が親睦を深めながら活動
 を展開しているが, インカレで女子団体優勝を果たした, かつての広大女子チームのメンバーも全員が現
 在は当クラブの会員である。また県OL協会の登録クラブとしても, OLの普及など協会の事業推進に積
 極的に協力しているが, クラブの20周年記念大会の開催を機に始めた地元林業組合に対する奉仕作業を,
 その後も毎年クラブの年間行事に組み入れて実施する等の活動も展開している。

広島大学体育会オリエンテーリング部 (広島大OLC) 高坂 直昌
 〒739 東広島市鏡山 1-4-1 広島大学体育会 トレッキング部
 1976年(昭和51年)7月 会員数(34名, 男31名, 女3名) 機関紙(「赤い稲妻」 年10回)
 ☆広島女子大, 広島女学院大と一緒に活動しているクラブです。
 クラブは, 今年, 創部20周年を迎え, 来年1月5日(日)には, 記念大会を山口県玖珂郡で開催する予
 定です。大会は, 山口大会(1/4)と中九四学連2Daysとして行なわれます。
 来年の始まりは, 中九四学連からどうぞ。

《山口県》

岩国オリエンテーリングクラブ (岩国OLC) 寺本 光夫
 〒741 岩国市錦見八丁目 7-57 吉村 三嗣 気付 ☎0827-43-4642
 1975年(昭和50年)4月 会員数(35名, 男28名, 女7名) 機関紙(無)
 ☆OL指導員で始まったクラブですが, レクリエーション, キャンプ, スキー, サイクリング等, 公認指導
 者も多く, 少しずつですが, 大会参加者(走り屋)が増えつつあります。



オリエンテーリング・クロスカントリー・森林/高原マラソンの情報満載!

オリエンテーリング・カレンダー

月	日	大会/講習会名 (主催者) 形式	集合場所・交通機関 (受付時間)	(地図) 等高線間隔 縮尺 通行可能度	参加料 ()=17才以下。#=Gの1人あたり
1	4 (土)	☆第25回 山口大学オリエンテーリング大会 兼 創部20周年記念大会 (山口大学オリエン テーリング部、山口大学工学部オリエンテー リング部) ㊦	「山口市スポーツの森」西京スタジアム: JR山口線「宮野」駅 下車、徒歩20分。㊦=中国自動車道「山口」ICより国道262号 を北上、国道9号との交差点を津和野方面に右折、左手に大 きな看板が出ています=駐車場あり。(9:00~10:30=昼Eクラス)	1: 15000 5m 3段階	個人=Eクラス 2000円(1000円) A・Bクラス 1800円(800円) 宇道費助成員・評議員各 200円引き、当日各200円増し G=500円(併走 300円, 小学生 100円)
	5 (日)	☆第17回 広島大学オリエンテーリング大会 兼 創部20周年記念大会 兼 広島県オリエン テーリング大会 (広島大学、広島女子、広島教育大の 各オリエンテーリング部、広島県オリエンテーリング部) ㊦	山口県周東町立「米川小学校」: ㊦=広島方面から山陽自動車 道「玖珂」ICより国道2号線へ出て徳山方面へ進み、「周東町 下久原」交差点を左折、約150m、会場まで徒歩30分。徳山方 面からは「熊毛」ICより国道2号線へ出て広島方面へ=上記の逆(9:00~10:30)	1: 15000 5m 3段階	個人=Eクラス 2000円(1000円) A・Bクラス 1800円(800円) 宇道費助成員・評議員各 200円引き、当日各200円増し G=500円(併走 300円, 小学生 100円)
	10~12 (金~日)	☆平成8年度 スキーオリエンテーリング指導者講習会 スキーオリエンテーリング初心者講習会 (日本スキー連盟、スキー連盟、スキー連盟) スキ-0	山形県上山市蔵王坊平「ライザワールド」: JR山形新幹線「かみのやま温泉」駅 下車、駅前より山交バス「初台エー号」(9:05, 11:30, 14:30発)に乗車し「セトワ ッ」前下車。㊦=山形自動車道「山形・蔵王」ICより国道13号線上山向より「エ 37」に入り約14km、「セトワッ」駐車場。		指導者コース 25,000円 初心者コース 23,000円 (いずれも講習費、資料代、宿泊費 =2泊6食を含む)
	12 (日)	☆ 静岡大学オリエンテーリングクラブ大会 (静岡大学オリエンテーリングクラブ) ㊦	富士宮市立「北山小学校」: ㊦=東名自動車道「富士」ICより車 で約40分。 (トップスタート 10:00予定)	1: 15000 5m 3段階	個人=1500円(700円) G= #300円
	19 (日)	☆第14回 多摩OLジュニアチャンピオン大会 (多摩オリエンテーリングクラブ) ㊦	東京都瑞穂町立「瑞穂第五小学校」: JR八高線「箱根ヶ崎」駅=「 立川」駅・「東大和」駅などからバス便あり。 (9:00~10:30)	1: 15000 5m 3段階	全てのジュニアクラス 500円 Nを除く全ての一般クラス 1500円 当日を含め、全てのNクラス 500円
2	2 (日)	☆第18回 横浜OLクラブ 創立20周年記念 オリエンテーリング大会 (横浜オリエンテーリングクラブ) ㊦	横浜市立「万騎が原小学校」: 相鉄線「二俣川」駅北口下車、徒 歩約20分、誘導あり。 (9:00~11:00)	1: 10000 5m 3段階	一般 1200円(1000円) 当日 1500円(1200円)
	16 (日)	☆第19回 早大OC大会 (早稲田大学オリエンテーリングクラブ) ㊦	千葉県成東町立「大富小学校」: JR総武線/東金線「成東」駅下 車、徒歩約20分。	1: 15000 5m 3段階	個人=Eクラス 2200円 一般 2000円 (500円)ほか申し込み方法に より多種 G・町民=300円(300円)
4	6 (日)	☆第14回 金沢大学オリエンテーリング大会 兼 秋田県民オリエンテーリング大会 (金沢大学オリエンテーリングクラブ) ㊦	小松市立「金野小学校」: JR北陸線「小松」駅下車、小松バス 尾小屋線「金野小学校前」下車、徒歩5分。㊦=北陸自動車道 「小松」ICより国道8号・416号経由、約30分。 (当日 8:30~10:30)	1: 15000 5m 3段階	個人=一般 1600円(1000円) Nクラス 500円 G= 600円(小学生クラス 300円)
5	3・4・5 (祝・日・祝)	赤城・榛名オリエンテーリング 3日間大会 (大会実行委員会)	群馬県渋川市、勢多郡赤城村・富士見村		
	18 (日)	☆第11回 新潟大学オリエンテーリング大会 (新潟大学オリエンテーリング部) ㊦	新潟県中ノ沢渓谷森林公園: JR越後線「三川」駅下車=会場 まで送迎いたします。㊦=磐越自動車道「西会津」ICより国道 49号線経由で約1時間。 (当日 8:00~10:00)		個人=Aクラス 1500円 Bクラス 800円 Nクラス 500円 当日=Aクラス 1700円 Bクラス 1000円 G= #200円

◆ 全般注意: ①定額小為替または郵便為替の指定受取人欄は記入しないこと。 ②返信用の封筒またはハガキの表面には返信先の郵便番号、住所、氏名を明記すること。

オリエンテーリング カレンダー (海外編)		ORIENTEERING CALENDAR (Overseas)		* mark= IOF Elite Event			
<1997>							
MAR. 28-31 '97	*Jan Kjellstrom O-Festival	Cornwall, SW	England	JUL. 18-20	Jysk 3-days	Thisted	Denmark
29-31	Australian 3-days	Broken Hill, NSW	Australia	21-25	*O-Ringen 5-days	Umeå	Sweden
MAY 3, 4	Tiomila	Eskilstuna	Sweden	26-AUG. 2	*6 jours de Suisse	Thun/Fribourg	Switzerland
JUN. 20-22	Shamrock O-Ringen	Castletownbere, SW	Ireland	27-AUG. 3	Canadian Orienteering Champs.	Winnipeg	Manitoba
27-29	*Norwegian O-Festival	Lillehammer	Norway	AUG. 3-9	*Scottish 6-days	Aberfeldy	Scotland
JUL. 3-13	Colorado Multi-day	Colorado Springs	USA	10-16	World Champs. spectators' races	Grimstad	Norway
9-12	*4 EST	Aegviidu	Estonia	20-24	*Bohemia 5-days	Novy Bor	Czech Republic
9-13	*Takas '97	Moletai	Lithuania	SEP. 27-OCT. 4	Veterans World Cup '97	Camp Ripley, Minnesota	USA
9-13	5 Jours de France	Bourgogne	France	<1998>			
14-19	*FIN5	Paimio	Finland	JUL. 1-5	World Masters Orienteering Champs.	Novy Bor	Czech Republic
				JUL. 25-AUG. 14	North American Champs., World Masters Games, etc	West. Canada	

2月のトレーニング カレンダー													
	1 (出)	2 (回)	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)	8 (土)	9 (日)	10 (月)	11 (火)	12 (水)	13 (木)
トレーニング・メモ (メニューなど)													
例: ランニング ○○km・□□分													
L. S. D (ゆっくり走) ○○km・□□分													
インターバル □□分													
休養=ストレッチのみ 完全休養													
大会参加(記録) 大会運営													
マッピング=フィールド・ワーク ○○時間など													
血 圧													
心 拍													
体 重													

略語説明 大会名欄の
 ①ポイントOL
 ②スコアOL
 ③リレー種目
 参加料欄ほかの
 G=グループ
 または
 トリム
 OJ様式=0-JAPAN 様式
 ○=使用してもよい
 ×=使用不可
 備考欄の
 S指=スタート時刻事前指定
 MM=マスターマップ

クラス分け (M/B=男子, W/D=女子, A=経験者, B=経験中位, N=初心者)	申込方法	J様式	申込み問合せ先 (IQ)	申込締切	備考
個人=ME, MA, MAS, M35A, MB, MN WA, WAS, WB, WNの10クラス G(2~5人)=1クラス	①郵便振替で参加料を払い込む。振替用紙の通信欄には「参加クラス」「氏名」を記入。②必要事項を記入した要項の参加申込書および要項指定の宛名票を同封して申し込む。	×	〒753 山口市前町 7-27 善原荘 13号 阿野 嘉孝 ☎0839-20-6074 ?=上記または 土岐 純平 ☎0839-25-6719 [払込み先] 口座番号=01510-0-20401 加入者名=山口大学オリエンテーリング部	11月30日 消印	
個人=ME, MA, MAS, M35A, M50A, MB, WA, WAS, WB, MWNの10クラス G(2~5人)=1クラス	①郵便振替で参加料を払い込む。振替用紙の通信欄には「参加クラス」「氏名」を記入。②必要事項を記入した要項の参加申込書および要項指定の宛名票を同封して申し込む。	×	〒739 東広島市西条町田口 877-4-A302 枝広 裕司 ☎0824-25-5543 ?=上記または 高坂 直昌 ☎0824-24-2481 [払込み先] 口座番号=01390-6-29161 加入者名=広島大学オリエンテーリング部	11月30日 消印	
指導者・初心者の 2コースがある。	①郵便振替で参加料を払い込む。振替用紙の通信欄には「スキー講習会 参加」と記入し「氏名」「指導者・初心者講習会」のどちらかに参加するかを明記する。②要項の参加申込書に必要事項を記入し郵送またはFAXで申し込む。 [払込み先] 口座番号=00290-8-4452 加入者名=日本スキーオリエンテーリング研究会	×	〒981 仙台市青葉区荒巻本沢 3-11-32 ユー・藤吉201 柴田 達真 方 日本スキーオリエンテーリング研究会事務局 TEL/FAX 022-278-7847 ?=上記または 武石 雄市 TEL/FAX 0237-43-5106	12月10日 消印	
個人=ME, M50A, M35A, M21A, M21AS, M20A M21B, M40B, WE, W50A, W35A, W21A W21AS, W20A, W21B, W40B, Nの17クラス G= 女子・男子グループ	①郵便振替で参加料を払い込む。振替用紙の通信欄には「参加クラス」「氏名」を記入。②必要事項を記入した要項の参加申込書および90円切手貼付/定形最大の返信用封筒を同封して申し込む。	×	〒422 静岡市小浜1156-1 1157-4F 106号 田浦 邦彦 ☎054-284-0147 ?=上記または 林 友紀子 ☎054-288-6301 [払込み先] 口座番号=00890-5-115507 加入者名=静岡大学オリエンテーリング部	12月2日 消印	
ジュニアクラス=JME, M18, M18N, M15, M12, JWE, W18, W18N, W15, W12 の10クラス 一般クラス=MA, MAS, MB, MNS, MNL, WA, WB, WNS, WNLの9クラス	①必要事項を記入した要項の参加申込書 ②参加料相当の定額小為替 を同封して申し込む。	○	〒187 小平市喜平町 3-2-8-408 西岡 道夫 方 「JC大会係」 ?=上記または 上坂 寛之 〆ズカ ココキ ☎0427-21-3363 (21:00~23:00) E-mail: YC13345@niftyserve.or.jp	12月20日 消印	
個人=M18A, M21A, M35A, M50A, M18B, M21B, M45B, MN, W18A, W21A, W35A WB, WNの13クラス G= 1 クラス	①郵便振替で参加料を払い込む。振替用紙の通信欄には「参加クラス」「氏名」を記入。②必要事項を記入した要項の参加申込書および90円切手貼付/定形最大の返信用封筒を同封して申し込む。	×	〒246 横浜市瀬谷区三ツ境108-2 藤原 孝太郎 方 横浜OLクラブ事務局 ☎045-391-2686 [払込み先] 口座番号=00270-0-19289 加入者名=横浜オリエンテーリングクラブ	1月10日 必着	
個人=ME, M21A, M21AS, M20A, M18A, M15A, M35A, M43A, M50A, M60A, M21B, M20B, M35B, MC, WE, W21A, W21AS, W20A, W35A, WB, WCの21クラス 当日クラス=OA, OB, OCのキープ3クラス及びGクラス等。	郵便振替で参加料を払い込み、同時に振替用紙の通信欄を利用して参加申込みをする。通信欄には「生年月日」「性別」「クラブ名」「参加希望クラス」「エリート選考への成績」「駐車券の希望の有無」を記入する。	?	?=山内 祐子 ☎044-954-2340 内藤 敏明 ☎0424-65-7241 [払込み先] 口座番号=00130-9-725603 加入者名=早大OC大会事務局	1月6日 消印	レイト・エントリー 締切 1月13日
個人=MA, MAS, M40A, MB WA, WAS, WB およびNの8クラス G= 一般組, 小学生組の2クラス	①郵便振替で参加料を払い込む。振替用紙の通信欄には「参加クラス」「氏名」を記入。②必要事項を記入した要項の参加申込書および定形最大の返信用封筒を同封して申し込む。	×	〒920 金沢市石引 2-1-17 香倉 様 方 小林 力 ☎0762-61-7605 ?=上記または 藤井 秀和 ☎0762-24-0621 [払込み先] 口座番号=00740-1-33034 加入者名=金沢大学オリエンテーリング大会	3月15日 消印	
個人=M21A, M40A, M20AS, MB WA, WAS, WB およびNの8クラス G= GQの1クラス	①必要事項を記入した要項の参加申込書 ②参加料相当の定額小為替 を同封して申し込む。	×	〒950-21 新潟市五十嵐2の町 8852 〆ツ祥雲A-102 小林 大祐 ☎025-263-1475 ?=上記または 真秀 豊 ☎025-263-9091	4月19日 必着	

郵便振替の手数料は払込み人が支払うこと (青色の振替用紙を使用すること)。

国際オリエンテーリング連盟 (IOF) 加盟国一覧 1996.12 現在 計48か国 含・準加盟国=*

ARG アルゼンチン *	CHI 利 *	FIN フィンランド	ITA イタリア	NED オランダ	SLO スロベニア
AUS オーストラリア	CHN 中国	FRA フランス	JPN 日本	NZL ニュージーランド	RSA 南アフリカ
AUT オーストリア	CRO クロアチア	GER ドイツ	KAZ カザフスタン	NOR ノルウェー	ESP スペイン
BEL ベルギー	CUB キューバ *	GBR イギリス	KOR 韓国	POL ポーランド	SWE スウェーデン
BLR ベラルーシ	CZE チェコ	HKG 香港	LAT ラトビア	POR ポルトガル	SUI スイス
BRA ブラジル *	DEN デンマーク	HUN ハンガリー	LTU リトアニア	ROM ルーマニア	UKR ウクライナ
BUL ブルガリア	ECU エクアドル *	IRL アイルランド	MAS マレーシア *	RUS ロシア	USA アメリカ
CAN カナダ	EST エストニア	ISR イスラエル	MKD マケドニア *	SVK スロバキア	YUG ユーゴスラビア



14 (金)	15 (土)	16 (日)	17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)	22 (土)	23 (日)	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)	備考

<編集部より>

1997年の新春を謹んでお慶び申し上げます。穏やかな年明けとなりましたが、今年こそは皆様のオリエンテーリング界にとって良いお年となりますようお祈りいたしております。また、早々にたくさんの年賀状をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、何よりも昨年の後半の半年以上にわたり、O-JAPANをお休みしてしまい、購読者はじめ多数の関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。お蔭をもちまして、編集者の本業務も最繁忙期を過ぎ、それにつれて健康状態も比較的落ち着いてまいりましたので、編集・発行を再開させていただくこととなりました。しかし、編集者自身は今後少しでも精神的な負担を避けさせていただくため、日本のオリエンテーリング界からは身を引き、地域に帰り、少し違った角度から住民の健康・福祉について考え、企画や活動に加わり協力をしていきたいと思っております。このストレスの多い世界からの引退を考える気になりました。

但し、いまだに「広報」部門の重要性を理解している国際オリエンテーリング連盟(IOF)をはじめ、数々の海外のオリエンティアからのコンタクトはありますので、これからも広報誌編集者(実際には発行者でもある)としてのお付き合いは続けさせていただきたいと思っております。また、独りでふらりと外国の森を走ったり、海外の大会参加ツアーも北米中心とはなりますが、時々ですが企画してみたいとも考えております。

肝心のO-JAPAN編集について申し上げておかなければなりません。お休みの間に多くの皆様から健康第一にとのお気づかいをいただき大変感謝しております。そして、編集・発行の継続するために無理のない方法をいろいろと考えてくださいました。今後は読者の皆様のご要望の多い大会情報中心に編集方針を切り替えていくこととなりました。情報提供などにぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

購読料につきましては、期限をお休みの7か月分延長というかたちをとらせていただきます。大部分の方々が97年3月までとなっておりますが、これを97年10月まで、本誌をお送りしている宛て名シールの右下の数字を'9710'に改めるようにいたします。また、今後年度途中に新規購読お申込みをいただく場合は、購読開始月から1年間として申し受けます。これまで、購読期間を4~3月の年度にこだわった理由は、編集者がかねがね主張していたオリエンティア登録制度が実現した場合に、購読者のデータが直にでも利用できるし、登録(購読)者への定期的な情報提供、更に大会参加申込みの代理受付、保険付保のためのリスト・スタートリスト・成績表などの作成請負を、可能なかぎりたくさんのオリエンティアの協力を得ながら進めていけるのではないかと考えていたからです。

いずれにしても、今後は財政的理由でやむを得ず発行を続けなければならない本誌の編集・発行人の代行者となります。若い人たちが中心となるO-JAPANをよろしく願いいたします。

海外 オリエンテーリング ツアー を楽しみませんか 編集部

オリエンテーリング カレンダー(海外編)にあるいくつかのイベントの中からピックアップして、ツアーを計画してみたいと考えています。但し、ある程度の参加者数に達しないと、特に現地における交通費が割高となりますので、プランとりの交通手段が使えなくなったり、費用がアップしたりしますのでキャンセルに至ることをあります。

そこで、先年カナダにおける国際大会への参加ツアーを行なった時のように、事前に参加希望者を募ってから、その人数による費用を見積もってからツアーの要項を作成するという方法をとりたいと思います。

また、従来の海外大会参加に当たっては、当然のことながら若い人たちは安価な航空券を求め、エントリーや現地の交通・宿泊などに関して各自または仲間同志で手配されることがほとんどであり、今後も続けられると思います。そこで、中高齢者を対象の中心として、比較的ゆったりした日程で、そして旅行や大会参加のための世話役が必ずつくことにする、このようなツアーを計画します。



FIN5 + O-RINGEN

□インターナショナル コンペティション ウィーク FIN5

7月14日~19日 フィンランド南西部 トルク地方

□オーリングゲン 5日間大会

7月21日~25日 スウェーデン ヴェストマンナ地方

(イベントセンター: ウーメボ)

(ツアー日程) 7月10日~28日(費用) 40~4.5万円程度

VWC 1997

□ヴェテランズ ワールド カップ '97

9月27日~10月4日 アメリカ ミネソタ州

(ツアー日程) 9月23日~10月8日(費用) 3.7万円程度

WORLD MASTERS ORIENTEERING CHAMPS

□世界マスターズ オリエンテーリング 選手権

(来年からのヴェテランズ ワールド カップの名称)

7月1日~5日 チェコ 北部 (ツアー日程) 等 未定

※来年はこの他に、7月下旬~8月中旬まで、全部参加する11日間の3週間以上におよぶカナダ西部のツアーを計画します。

今年度の2つのツアーについては、2月10日までに、電話ハガキ等で参加ご希望をお寄せ下さい。

O-JAPAN	発行人/田口 昭子	: 購読料=年間	¥3,600	: Editorial Address:
〒234 横浜市港南区日野南7-9-5		: (高校生以下)	¥2,400	: c/- Hajime Taguchi
TEL. 045-891-7004 FAX. 045-891-2500		: 1部あたり頒布価格	¥300	: 7-9-5, Hino-minami, Kohnan-ku
郵便振替口座: (番号) 00270-9-46870	(加入者名) O-JAPAN 編集部			: Yokohama, 233 Japan